

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立扇台小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒921-8151
石川県金沢市馬替1-34

E-mail : ougidai-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/ougidai-e/

児童生徒数：男子 221 名 女子 192 名 合計 413 名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

ユネスコスクールとしての取組

“暮らす”の観点から、金沢や地域がもつ様々な伝統や文化、自然、歴史、人々を通して、金沢や地域について学び、誇りと愛着をもち、より良い社会の形成に参画する資質と能力を育てる。

“生きる”の観点から、学校近くの河川・ホテルの生息について調べ、自然環境・地球環境の保全の大切さを知る。

3年生 テーマ「ぼくらは町のたんけんたい」(地域)

地域の名人さんを探し、名人の技を体験させてもらうことで、「技・工夫・そのものへの思い」を知った。今年度は、地域の「民謡(花笠音頭)」「太極拳」「お茶・和菓子」「水墨画」の名人の方に来ていただき、それぞれ体験することができた。その道に長けた名人さんから、実際に踊りや型を見せてもらうことで、技のすごさ、演技者の息づかい・心意気を感じることができた。自分たちもできるようになりたいという思いも高まり、秋の集会では、花笠音頭や太極拳を実演して全校に伝えることができた。また、お茶・和菓子体験では、地域の人から作法(礼法)を学ぶとともに、和菓子に興味をもつようになった。四季折々の和菓子を、本や図鑑で調べたり、身近な人に尋ねたりしてまとめていった。中でも、お正月によく食べられる和菓子やその和菓子の由来(込められた意味)を調べることを通して、加賀藩とのかかわりが深いことや金沢ならではの和菓子の慣習を知り、お家の人と正月に食べていることが意味のあることだと実感し、伝統ある金沢のすばらしさを感じることができた。



4年生 テーマ「ホテルが住みよい環境について考えよう」(地域・命)



中庭にあるホテル小屋で、毎年受け継いでいる「ホテルの飼育」に取り組んだ。ホテルの成虫を見たことはあるが、幼虫を顕微鏡で観察するくらい小さい時から世話するのは初めての子がほとんどであったが、エサやりや水かえ、観察日誌の記入

など、夏休みも休まず行った。ホテルの幼虫の世話をすることを通して、「ホテルにも人にも住みやすい環境」についても考えるようになった。そしてホテルの生命のはかなさ、それでもつなげていく命のすばらしさに気づき、ホテルが住みよい環境を作っていくのは自分達であることを自覚した。扇台発信では保護者と他学年に向けてホテルの一生や育て方、住みやすい環境について、絵や図、実演、クイズなどを通して発信することができた。

5年生 テーマ「よりよくしよう!わたしたちの高橋川」(環境・奉仕)

高橋川探検をもとに、高橋川やその周りの環境に疑問をもち、「水質調査」や「人とのかかわり」などテーマを決めて追求した。探検は、前期に上流(手取川取水口)へ、後期に下流(高橋川→伏見川→犀川)・日本海までを歩き通し、川の流れと周りの様子の変化・水質の違いを実際に感じ取ることができた。さらに、水源である綿ヶ滝にも行くことができ、



岩の大きさ・流れの速さ・川幅の狭さ・生き物など観察することができた。また、地域の方にインタビューをして、夏の地域行事として参加している「扇台川祭り」の始まりを知ることができた。児童は地域の歴史と人のつながりを改めて感じ、この環境を守っていく大切さを感じることができた。成果発表である「扇台発信」では、「川の様子・歴史・人とのかかわり・ゴミ・水質・生き物」の6つのテーマに分かれ、プレゼンテーションソフトを効果的に使い伝えることができた。

6年生 テーマ「夢のコンサート～自信と誇りとつながりを～」
(伝統・国際)



今年度は「アンサンブル扇台67」と題して、集会やコンサートなど様々な場面で演奏活動を行った。「アンサンブル扇台」の活動は、今年度で4年目となり、下級生にとってあこがれの活動として定着してきている。4月から、様々な国の楽曲や楽器を扱い、歌ったり演奏したりできる「レパートリー」を増やす中で、音楽を通してその国の文化にもふれることができた。練習の過程では、外部講師の方々やともに演奏する友だちそして、演奏を聴いてくれる人々と関わりながら、自分のパートを責任もって演奏することができた。演奏では、他の音を聞きながら調和させることが大切であり、一人一人の音が重なり合っ

て一つの曲が完成することということを実感することができた。こうした関わりの中で演奏を完成させることで、自分がみんなにとって大切な存在であり、自分のとなりの友だちもまた大切な存在であることを感じ、一人一人がつながり合っ

て一つのものを完成させる達成感・心地よさを積み重ねることができた。コンサートは地域の介護ホームでも行い、お年寄りとの交流も深めた。学校では、全校や保護者に向けてのコンサートを行い、自分達を支えてくれている家族やこれまで様々なことを教えて下さった方々への感謝の気持ちを伝えることができた。1年間を通して、自信や誇り、周りの方々とのつながりを深める活動となった。その他、金沢の文化にふれる学習として、金沢城・兼六園の歴史や技術、保存の工夫などについて「まいどさん」から学んだ。さらに、学んだことを互いに交流し、「金沢探検ブック」としてガイドブックにまとめることができた。また、「金沢の歴史やよさを伝えたい」と活動されている「まいどさん」の思いにも触れることもでき、学んだことをもとに、全員で金沢検定に挑戦した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()